**日本心脈管作動物質学会　学会誌「血管」投稿規定**

投稿論文は、その内容が未投稿及び未掲載であって、独創的な知見を含むものに限ります。

すべての著者は原稿の内容を理解していること、投稿について同意していることが必要です。なお、日本心脈管作動物質学会の会員以外からの投稿も随時受け付けます。

Ⅰ.論文種別

　論文は投稿による総説、ポストシークエンス時代の心脈管ゲノミクス、若手研究者による最新海外情報、世界の研究室便りがあります。

用語は日本語とします。

1.総説

(1)投稿による総説：著者の関与する研究についての最近の成果をまとめたもので、主題が明確な論文。

　 (2)招待による総説：理事、評議員、編集委員が執筆推薦、依頼する論文。

　　2.一般論文：著者の原著であり、独創的研究で得られた有意義な新知見を含む論文。

　　3.ノート：断片的な研究であっても、新しい事実や価値あるデータを含む論文。

Ⅱ.原稿様式・記載方法

1. カバーレター

　　　和文の連絡著者情報（連絡著者名、所属機関及び住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス）を記載して下さい。

1. タイトル

　　　「総説」心脈管に関連した内容でお書き下さい。

「ポストシークエンス時代の心脈管ゲノミクス」心脈管ゲノミクスに関連した内容でお書きください。

「若手研究者による最新海外情報」心脈管に関連した内容でお書きください。

「世界の研究室便り」があります。

1. 原稿

　　　原稿枚数は、（400字詰）「総説」40枚程度、「ポストシークエンス時代のゲノミクス」40枚程度、「若手研究者による最新海外情報」20枚程度、「世界の研究室便り」2～5枚程度を目安に執筆して下さい。

　　　原稿は本文、図、表をそれぞれ別のファイルで作成して下さい。

　　本文中の項目は次のランクづけでお願いします。

I. ………太字、左右中央(2行ドリ)

1) ……….明朝、左寄せ(1行ドリ)

a) …….明朝、左寄せ(1行ドリ)

原稿は、楷書、横書き、ひらがな、新かなづかい、口語体、当用漢字を用い、正確に句読点をつけ、句読点、かっこは1字を要し、改行の際は冒頭1字分をあける。

外国語で一般に日本語化しているものは、かたかなを用いてもよい。

数字はアラビア数字を用い、度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, μg, g, kg, N/10などと記す。

次の字はかな表示にする。

勿論、唯、夫々、及び、各々、並び、殆ど、但し、併せる、全て、更に、為、何故、於いて、就く、我々、若、其、出来、共、所、事、訳、即ち、様………..

引用文献は主なものに限る。本文中の引用箇所の右肩に番号を付す。

　　　例　「○○○1〜2)　、○○○1〜5)」

　　3.引用文献及び注記

　　引用文献は雑誌掲載論文、書籍、単行本、インターネット、技術報告、特許、講演等とします。これ以外は文章的な記述として下さい。出現順に通し番号（引用文献1件ごとに1つの番号とします）を付け、文中右肩に右片カッコ付きのアラビア数字で示し、番号順位並べてREFERENCESとして論文末尾に一覧表示して下さい。

　　和名のみの場合は、ローマ字表記にして下さい。

　　引用文献の記載には、著者名は全員を記し、first 及びmiddle nameのイニシャルを記載して下さい。

Ⅲ.費用

1. 投稿手数料　無料
2. 掲載料　　　無料
3. 原稿料　　　なし
4. 別刷料　　　無料　（50部を贈呈）※追加増刷の場合は、別途費用がかかります。

Ⅳ.その他

1. 著作権

本誌に掲載された論文、抄録、記事等の著作権は日本心脈管作動物質学会に帰属する。

本会は、これら著作権の全部または一部を、本会のホームページ、本会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において掲載し、出版（電子出版を含む）することができる。

1. 本学会の学会誌「血管」は、査読システムにより、論文の改訂をお願いすることがございますのでご了承下さい。

（施行　平成26年6月2日）